

令和7年度 東湊小学校 学校研究

1. 学校研究主題

自ら学びに向かい、課題を解決しようとする児童の育成

～見取りとアシストを通して～

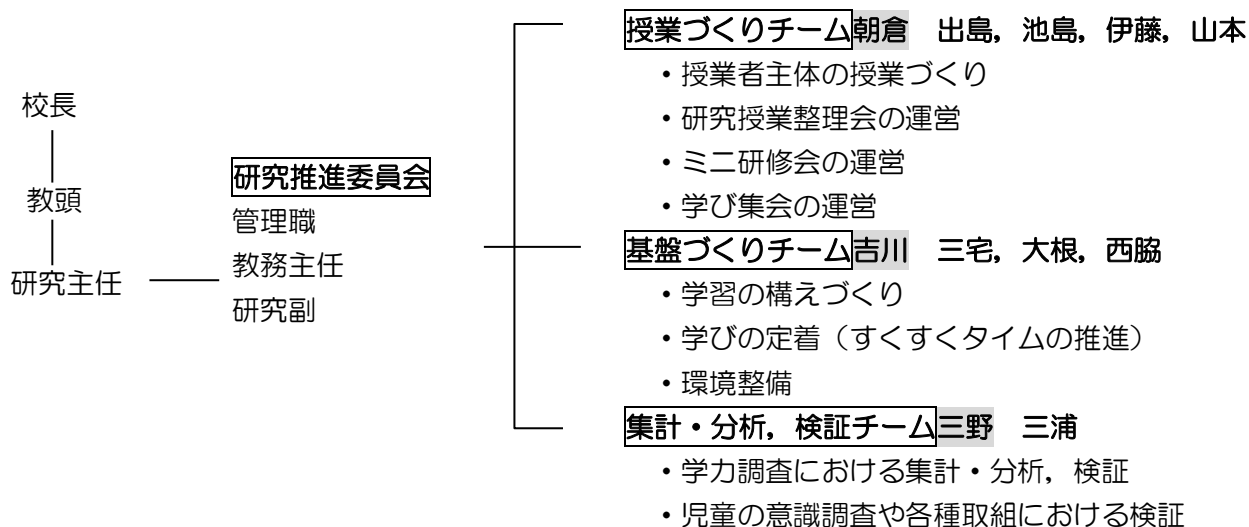
2. 学校研究主題設定の理由

昨年度は、学習者主体の授業づくりを通して自分の思いや考えを表現できる児童の育成をめざした。児童自ら学びを進める場面(ぐんぐんタイム)を設定することで、児童らもぐんぐんタイムの有効性を感じ、学習意欲の向上が見られた。昨年度の1年間で、児童自ら学びを進めていく素地が養われた。

一方で、児童にどの程度委ねるのかの見極めが難しく、児童が授業のねらいからずれてしまうことが課題としてあげられた。また、どの時間にぐんぐんタイムを設定すれば効果的なのか、児童がゴールから外れることなく学びに向かい続けていくにはどうすればいいのか等、単元構想の面についても課題があげられた。





今年度は、ぐんぐんタイムでの指導者の見取りとアシストを通して、自ら学びに向かい、課題を解決しようとする児童を育成する。

3. 研究組織



4. 研究全体構想図

学習者主体の授業づくり

つかむ	単元のゴールや本時の課題を確認	
考える 学び合う	<p>学びの合言葉～共通の軸～をもとに考える</p> <p>【個】じっくりタイム ～自力解決を図る～</p>  <p>研究の重点1 ねらいに迫る見取りとアシスト</p> <p>【個・協】ぐんぐんタイム ～自ら学びを進め、解決を図る～</p>   <p>自己決定 / 指導者が規定</p> <p>なにで だれと どのように</p> <p>よりよく! なっとく! レベルアップ!</p> <p>学びを生かして考える 調べる 伝える 質問する 広める 取り入れる 比べる 分類する 自分の考えを見直す みんなの考えをまとめる 考えをねり上げる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 単元を通して、「学びの合言葉」を児童と共有する。口頭／掲示 課題解決力をつけるためにも、短時間でも取る。課外でもよい。 昨年度の重点①「ぐんぐんタイムの手立て」は、ぐんぐんタイムの前段に重きが置かれていた(どう自己決定させるか等)。今年度は、ぐんぐんタイムの設定や自己決定は前提。指導者は、児童がどのような考えを持っているかを見取り、十分でない児童がねらいに迫れるようにアシストする。それをどう行うのかを重点とする。
ふり返る	<p>【個】ふり返る</p>  <p>研究の重点2 学びをたしかなものにするふり返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習内容をたしかめるために3観点で型に沿って記述する 納得はじめは～と考えていたけど、今は～思う 発見今日分かったことは、 これから今日は～けど、次は～しよう ・ノート、ICT、プリント等、単元に応じて行う。

学びの土台づくり

学習の構えづくり

- ・ぱっちり7
- ・強化週間の設定

学びの定着

- ・すすくタイムを生かした基礎基本の定着
- ・ロングすすくを生かした習熟度別学習

環境整備

- ・教室内掲示提案
- ・研究に関する掲示物

	重点項目 および 取組内容	
4	校内研修	学校研究の全体計画の起案と検討 学力向上ロードマップの確認 学習規律の確認（研究二部会） 指導案の形式検討
5	校内研修	授業整理会の進め方
	授業研究	要請訪問 4年 音楽（朝倉）
6	授業研究	計画訪問 指定授業 6年 国語（吉川）
7	校内研修	一学期の研究についての成果と課題 ・学力向上ロードマップの見直しと修正 ・児童アンケートの分析による成果と課題
8	校内研修	2学期の取組に向けての共通理解
9	授業研究	ハートフルサポート あおぞら 特別支援教育（三浦）
	授業研究	要請訪問 5年 社会（出島）
10	授業研究	スマイルサポート 1年 生活（伊藤）
	授業研究	要請訪問 わかくさ 国語（山本）
11	授業研究	初任者研修 3年 国語（大根）
	授業研究	要請訪問 6年 社会（三宅）
	授業研究	スマイルサポート 5年 算数（三野）
12	授業研究	ハートフルサポート あおぞら 特別支援教育（三浦）
	校内研修	学力調査の分析（自校採点の結果から） ・県評価問題（5年：国語・算数・理科） ・結果の分析から見る今後の重点課題 二学期の研究についての成果と課題 ・学力向上ロードマップの見直しと修正 ・児童アンケートの分析による成果と課題
1	授業研究	スマイルサポート 4年 国語（池島）
2	校内研修	市学力調査の分析 ・市学力調査（5年：国語・算数・社会・理科）（他学年：国語・算数） 結果の分析から見る今後の重点課題
3	校内研修	研究のまとめ／成果と課題の検証／次年度の研究テーマについて検討